

「こだわり住宅」特集。“したいこと”を叶えた、夢の住まいが大集合!

DIGITAL EDITION
デジタル版も読める

EDECOR

エル・デコが考える
「これからの住居」
最新案内2016

JAPAN
The World's Leading
Design & Lifestyle Magazine

だれと建てる? どう暮らす?

理想の家の作り方

中村拓志 / ランドスケーププロダクツ
ロン・アラッド / 小川晋一 / 谷尻 誠 ほか

永遠の名作家具から今注目の新鋭まで
イタリア・デザインの底力

世界の住宅実例にヒントあり!
憧れの家と暮らしを手に入れる
最旬インテリア術

これから一緒に家をつくるなら!
知っておきたい新世代建築家

My Home, My Style

エル・デコ
no.146 October 2016

10

Bethan Laura Wood

ベサン・ローラ・ウッド デザイナー

極彩色の鎧をまとった ロンドン発のニューウェーブ

頭に巻いたスカーフに特徴的なサングラス、首には虹色に彩られたダチョウの羽根。デザイナー、ベサン・ローラ・ウッドの姿は、誰しもの目を釘付けにする。ロンドンを拠点に活動する若手デザイナーたちのなかでも、ずば抜けた個性と勢いをもつ彼女。エキセントリックな服装同様の鮮やかな色彩をベースにした世界観で、エルメスのショーウィンドーや、エースホテルでのインスタレーションを彩ってきた。

無秩序のように見えて、細かな計算がなされた色の配置。彼女に自身の作風について尋ねた。

「世の中にあふれている些細なものを混ぜ合わせて並べて、新しいものを作り出すことに喜びを感じるの。私の作品は、見る人によってさまざまな解釈ができる。アメリカン・ポップが発するようなぎやかな声を感じる人もいるだろうし、アフリカの色、それからインドネシアの薫りを感じる人もいるかもしれない」

そんなウッドの新作は、イタリアの老舗陶器ブランド、ピトッシのベースコレクション「グアダルベ」。エトレ・ソットサスをはじめ、アリック・レヴィ、ディモーレ・スタジオなど多くのデザイナーと協業を重ねているピトッシ。構想を練るにあたり、彼女はその歴代の作品が収蔵されたアーカイブを訪ねたそう。

「7000点を超える作品があったわ。なかでもピトッシのアートディレクターでもあるアルド・ロンディの作品には魅了された。彼の粘土の扱い方はとてもコンテンポラリーで私の感覚に似ていると思う」

実際、「グアダルベ」の表面を覆うリズムカルなカットは、ピトッシの'50年代から'70年代のコレクションの影響を強く受けたという。



自らのスタイリングで鮮やかに着飾ったベサン・ローラ・ウッド。フォトグラファー、アンソニー・リセットによる「セルフ・スタイル・プロジェクト」より。

「この模様は、紙に描いたパターンを粘土に貼り付けて決めていったの。とにかく素材を触って、手を汚しながら作品を作り上げるのが好き。手を動かして初めて、自分の思い描く形が具現化するの」

Profile

1983年イギリス生まれ。ロイヤル・カレッジ・オブ・アート修了後、自身のスタジオを設立。家具や照明、アクセサリのデザイン、ウィンドーディスプレイなど幅広く手がける。作品はサーペンタイン・ギャラリーやジェフリー・ミュージアムほか、世界のギャラリーに収蔵。ECAL（ローザンヌ美術大学）でレクチャーも行う。



メキシコのグアダルベ寺院のステンドグラスから着想を得たという「グアダルベ」コレクション。